Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム
オンライン招へい（日系社会グループ）の記録
テーマ：日本祭り

１．概要

【目的】　日系人の歴史や現在の状況を学ぶことで日系人への理解を深めることを主目的として本プログラムを実施しました。オンラインプログラムでは、日本の学生からの発表を通じて日本の祭りの歴史や伝統文化を知り、日本への関心、興味を深めました。

【参加者】　中南米の日系コミュニティに関わる社会人　計 18 名（アルゼンチン、パラグアイ、ブラジル、ペルー、ボリビア、メキシコ）※五十音順

【訪問地】　東京都、愛知県、北海道、宮城県

【日程】

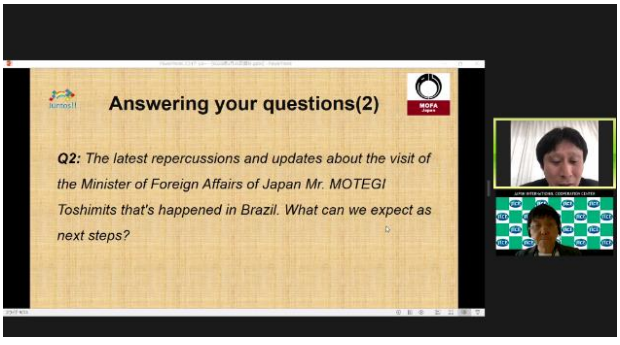
日時 （日本時間） 訪問地	内容	参加者の質問・反応
事前プログラム		
2021 年 3 月から本プログラム終了まで	【動画視聴】 1. 事前オリエンテーション 2. 南三陸町からのメッセージ	事前プログラム開催期間前から日本や事前プログラムに関する動画が配信されており、参加者は動画を視聴してから事前プログラムに参加しました。
2021 年 3 月 30 日（火） 9:00～9:45 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 「日本における中南米外交」 講師：外務省中南米局中米カリブ課長 正本　謙一氏 1. 講義 2. 質問への回答	参加者からは「日本と中南米地域の友情の絆について考える機会となった」等の声があがり、今後のプログラムへの意欲を新たにしました。
2021 年 4 月 13 日（火） 9:00～11:00 愛知県	【在名古屋ブラジル総領事館・日系人交流】 1. 在名古屋ブラジル総領事館 ネイ・フトゥロ ・ビテンクール総領事より挨拶 2. 愛知県概要紹介	在名古屋ブラジル総領事館をはじめ、日系人行政書士、ブラジルに関心のある日本の大学生らとのオンライン交流を通じて、県内に暮らすブラジル人に対する行政サポートや日系人の活躍、現在のブラジル人の生活

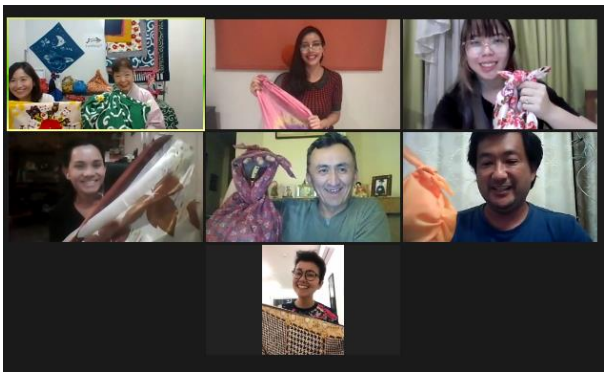
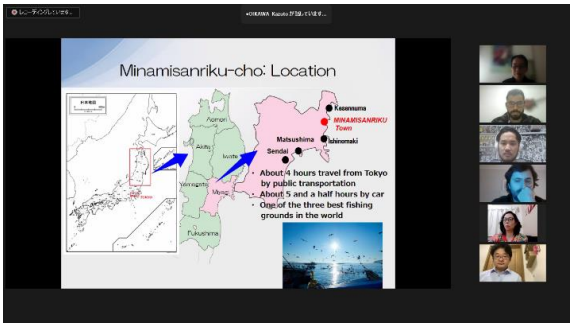
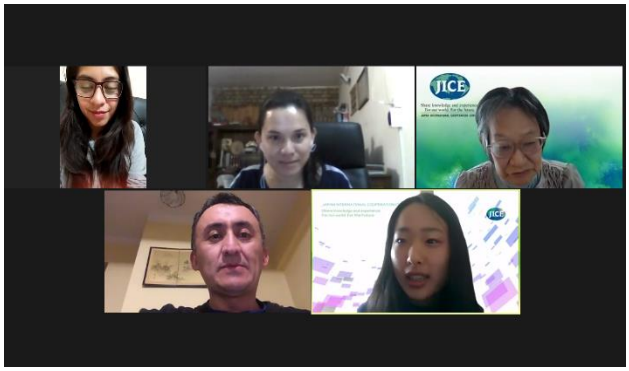
	3. 講義 「中部地区に定住するブラジル人の抱える問題と行政の取り組み」 講師:行政書士 渡辺 マルセロ氏 4. 将来を担う日本の若者(南山大学 外国語学部の学生たち)と日伯についてQ&A セッション	や仕事について理解を深めました。
2021 年 4 月 23 日（金） 9:00～10:30 北海道	【日本文化体験】 結び屋ゆいく 講師：齋藤 のり子氏 1.「結び屋ゆいく」紹介、齋藤のり子講師より挨拶 2. 風呂敷の歴史、風呂敷と環境(エコ)の繋がりについての講義 3. 風呂敷包みの説明と講師による実演 4. 参加者の風呂敷包み体験 5. 質疑応答・感想共有	風呂敷包みの歴史的背景や風呂敷と環境（エコ）の繋がりについて講義を受け、伝統文化継承の重要性と環境への配慮について意識を高めました。また参加者は実際に自宅で用意した風呂敷や布を使って、風呂敷包みを体験し、日本文化への関心や興味を深めました。 参加者からは「日本に関してより興味を持ち、また日本のことを知ることができたのは、とても素晴らしく、実用的なプログラムでした」といった感想が寄せられ、今後のプログラムへの意欲を新たにしました。(7 名)
2021 年 5 月 11 日（火） 9:00～10:00 北海道	【日本文化体験】坐禅体験 1.「峯光寺」の紹介、小野隆見副住職の挨拶 2. 仏教や坐禅についてのお話し 3. 坐禅の方法についての説明・実演 4. 参加者の坐禅体験 5. 質疑応答・感想	住職の身に着けている装束に意味があるかといった質問や、坐禅体験は美しく、日本の文化をより深く知る機会になったといった声が多数ありました。
2021 年 5 月 20 日（木） 9:00～10:30 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 【意見交換会】 視察先：在日ブラジル商工会議所 1. 在日ブラジル商工会議所より事業概要及び参加者の紹介 2. 日本で活躍するビジネスマン 3 名より講演(ブラジル銀行、日本フルーツジュース株式会社、株式会社イマイ) 3. 関係者との意見交換会 4. 各グループの意見発表	日本でビジネス展開をする上で必要なことや、日本製品・ブラジル製品の輸出入について、コロナ禍での企業のあるべき姿について等、質問が多数あがりました。

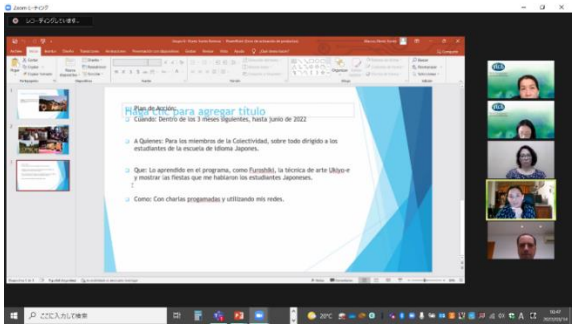
2021 年 5 月 27 日（木） 9:00～10:45 宮城県 南三陸町	【南三陸町（被災地交流）】 1. 講師紹介 2. 南三陸町観光協会による南三陸町概要・被災当時の状況についての説明 3. 講師との意見交換会 4. 感想共有	「被災して、家も友人や家族も何もかもが無くなり、地域から離れ、投げ出したくならなかったのか」といった質問や「『まずは自分の身を守る』という教訓は、自分をはじめ家族や周りの人々、コミュニティを助けることを知って、非常に印象深かった」といった感想がありました。
事前プログラム終了後から本プログラム終了まで （6 月から 8 月までの間に公開）	【動画視聴】 1. 日本理解講義 2. ホームビジット体験 3. 日本文化理解（京都） 4. 広島ピースツアー 5. 愛知の魅力～産業、最先端技術～	事前プログラム開催期間終了後から本プログラム開始前までに日本やプログラムに関する動画を配信し、参加者は動画を視聴してから本プログラムに参加しました。
本プログラム		
2022 年 3 月 2 日（水） 9:00～10:30 東京都	【オリエンテーション】 【アイスブレイク】 【参加者意見交換】	オリエンテーションにおいて初めて得る情報も伝達され、特に課題に関することでは、どのような切り口でいつまでに作成するかなど熱心に質問が出されました。 全体説明後には、グループごとに参加者同士の自己紹介の場が設けられ、参加の動機や日本との関わりなど意見交換が活発になされました。
2022 年 3 月 7 日（月） 9:00～11:30 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 【日系人交流】意見交換会 1. 講義 「JICA の日系社会連携」 講師：国際協力機構（JICA）中南米部 吉田　憲部長 2. 質疑応答 3. 参加者間交流・被派遣者による発信 「日本の祭りと現代の日本人との関係」 4. 意見交換	参加者からは「日本と中南米地域の友情の絆について考える機会となった」との感想が寄せられました。 日本の大学生からは、日本の祭りや現代の日本人と祭りの関係についてのプレゼンテーションが発表されました。発表を聞いたブラジルの参加者より、祭りの運営に関する質問があがりました。
2022 年 3 月 10 日（木） 9:00～11:30	【ワークショップ・参加者間交流】 1. プレゼンテーションの発表 「日本の魅力や強み、身近にある中	日本の大学生と活発な意見交換をしました。ブラジルの寿司と日本の寿司の違いや、日本で人気のあるブラ

東京都	南米とのつながり」 2. 感想発表、意見交換 3. アクション・プラン策定、発表準備	ジルの音楽、日本語として定着したポルトガル語の言葉など、話題は多岐にわたっていました。
2022 年 3 月 11 日（金） 9:00～10:40 東京都	【ウェビナー・質疑応答、交流】 1. 開会 2. 講義（浮世絵実演、工房見学、浮世絵作品紹介） 「レクチャー『江戸木版画』 講師：株式会社高橋工房　代表取締役　高橋　由貴子氏 3. グループディスカッション 4. 質疑応答 5. まとめ、講評 株式会社高橋工房　代表取締役 高橋　由貴子氏	浮世絵工房の高橋氏より浮世絵版画誕生の歴史からその発展について講義の後、工房を見学しました。浮世絵が完成するまでの各制作工程の実演、作品紹介について、参加者は大変興味深く聴講していました。工房内の摺師の作業工程及び作品関心が高く、画面にくぎ付けとなっていました。 グループに分かれての鑑賞時は、ひとつの絵に対して、各自思い思いの意見を述べ合い芸術鑑賞を楽しみました。
2022 年 3 月 14 日（月） 9:00～11:00 東京都	【ワークショップ】 【報告会】 1. 参加者による発表 2. 講評 外務省中南米局中米カリブ課主査 吉﨑　茉耶氏	プログラム参加後 3 か月以内に実施するアクション・プランについてグループごとに発表しました。この日は、日系社会のスペイン語圏とポルトガル語圏それぞれのグループ、太平洋同盟グループ、ブラジルグループ計 4 グループの発表となりました。

２．記録写真

事前プログラム	
	
2021 年 3 月 30 日【ウェビナー・質疑応答 】質疑応答の様子	2021 年 4 月 13 日【在名古屋ブラジル総領事館・日系人交流 】愛知県の事業概要を聞く参加者

<table>
<tr><td>  </td><td> </td></tr>
<tr><td>2021 年 4 月 23 日【日本文化体験】
風呂敷包みを実践する参加者</td><td>2021 年 5 月 11 日【日本文化体験】
坐禅の方法についての説明・実演</td></tr>
<tr><td>
</td><td> 
</td></tr>
<tr><td>2021 年 5 月 20 日【在日ブラジル商工会議所による講義及び意見交換会】
ブラジル銀行による講演</td><td>2021 年 5 月 27 日【南三陸町（被災地交流）】
南三陸町概要・被災当時の状況についての説明</td></tr>
<tr><td colspan="2">本プログラム</td></tr>
<tr><td>  </td><td> </td></tr>
<tr><td>2022 年 3 月 2 日【オリエンテーション】
グループに分かれて自己紹介をする参加者</td><td>2022 年 3 月 7 日【ウェビナー・質疑応答】
講師と集合写真を撮影する様子</td></tr>
</table>

2022 年 3 月 10 日【ワークショップ・参加者間交流】 交流後に撮影した集合写真	2022 年 3 月 11 日【ウェビナー・質疑応答、交流】 浮世絵工房の講師と記念撮影をする様子
	
2022 年 3 月 14 日【報告会】 アクション・プランを発表する様子（1）	2022 年 3 月 14 日【報告会】 アクション・プランを発表する様子(2)

３．参加者の感想（抜粋）

◆ メキシコ　社会人

風呂敷の正しい作り方や様々な用途を知ることができ、とても興味深かったです。 最も重要であったのは、その手法ばかりでなく、日本の伝統文化である風呂敷を使用することで私たちの生活環境を保護することにもつながることを理解できたことです。

◆ ブラジル　社会人

本交流プログラムは、日本と日本の側面について学び、理解を発展させるための大変ユニークな機会です。 私にとってこのプログラムの最も興味深い要素は、日本人と話したり、質問したり、意見を交換したりする機会でした。

◆ ブラジル　社会人

とてもよかったです。特にブラジル日本商工会の日本市場に関する講演と座禅についての講義が素晴らしかったです。

◆ ボリビア　社会人

浮世絵工房を訪問して、富士山と海が表現された絵の制作過程を見ました。その技術の複雑さに感銘を受け、この芸術を一層愛でる気持ちが高まりました。

４．受入れ側の感想（抜粋）

◆ 曹洞宗　峯光寺

スタッフの事前準備からの説明が丁寧でわかりやすく、大変スムーズに進行できました。

◆ 在日ブラジル商工会議所

参加人数が少なかったことから個別の話し合いができました。

◆ 交流先大学生

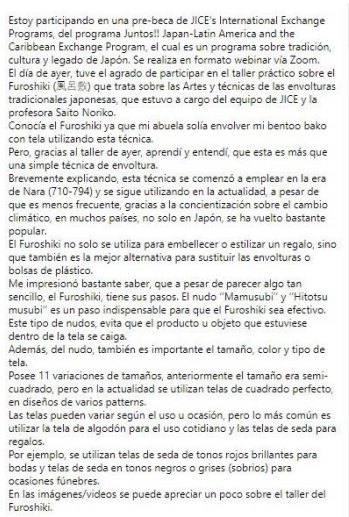
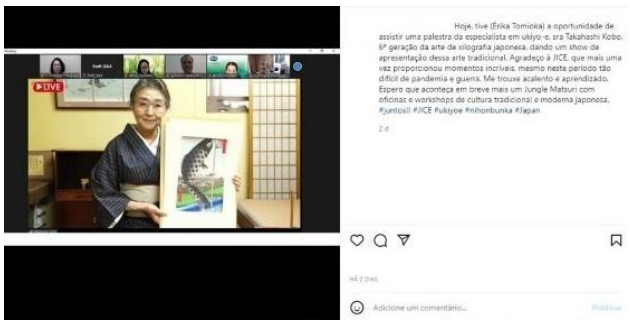
ボリビアや、エクアドルの方は、私の大学には留学生として来られなかったので、今回のプログラムで初の交流となりました。とても貴重な体験ができたと思います。

◆ 協力団体担当者

浮世絵を題材にしたグループディスカッションでは、日本人の私たちでは気づかないような視点を知れてとても感心したほか、参加者の皆さんが積極的に講師とコミュニケーションを取っている姿が印象的でした。

５．参加者の対外発信、報道記事

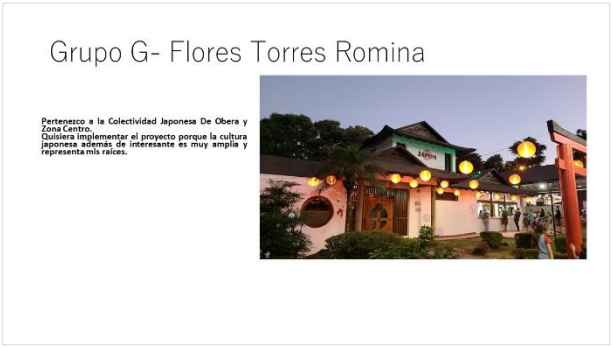
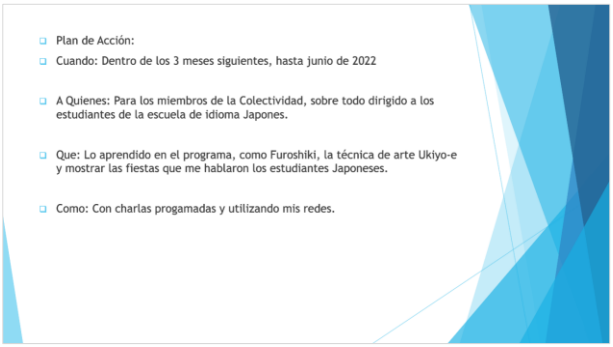
2021 年 3 月 30 日（Facebook） 昨日、#Juntos!! という日本の外務省が推進するプログラムを通して、オンライン対日理解促進交流が開催されました。このプログラムは、日本とラテンアメリカ、カリブ海地域の関係を強化することを目的としており、このプログラムに参加し、ブラジルの代表者の一人となって	2021 年 4 月 13 日（Instagram） 昨日の Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラムでは、在名古屋ブラジル総領事ネイ・フトゥロ　・ビテンクール氏による挨拶のほか、Associação Nipo-Brasileira de Goiás (ANBG) の取り組みについて学ぶ機会がありました。この団体は、盆踊りにスポットを当てながら 各種イ

いることを非常に光栄に思います。 私たちは世界に 380 万人以上いる日系で、ラテンアメリカ、カリブ海地域の日系は 224 万人以上です。ブラジルだけで約 200 万の日系がいます。 この協力を#一緒に（Juntos!!）より良いものとしましょう！	ベントを実施し、参加者に日本の代表的な料理を家庭で作る方法をライブ配信で教えています。
	
2021 年 4 月 15 日（Facebook） マナウスのみなさんに日本から直接学んで「ジャングルまつり（参加者が現地で企画・運営する日系コミュニティのイベント）」で最高のものを提供します。	2021 年 4 月 23 日（Facebook） 齋藤のり子講師による日本の伝統的な風呂敷包みを体験するワークショップに参加させていただきました。祖母が私の弁当を風呂敷で包んでいたので、風呂敷については知っていました。しかし、昨日のワークショップのおかげで、これが単なる 3 つの単純な包み方ではないことを知り、日本文化やその歴史を含めて理解することができました。
	

2021 年 5 月 27 日（Instagram） 11 日は仏教の瞑想(坐禅)を体験し、健康上の利点を感じました。19 日のオンライン会議では日本で活躍するブラジル人の日系の日常生活や、26 日は南三陸町（2011 年に発生した地震と津波で壊滅的な被害を受けた地域）の観光、環境、復興を目的とした主な活動について学びました。	2022 年 3 月 13 日（Facebook） 今日は 6 代続く浮世絵版画の高橋工房の専門家の講義を聞くことができました。
 HOME > 体験レポート > 「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」実施レポート 2021年6月14日 「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」実施レポート ■実施概要 【団体】外務省が推進し、JICE（一般財団法人日本国際協力センター）が実施する「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」参加者の皆様 【日時】2021年5月27日　9：00～10：45 【人数】47名 ■Juntos!!リアルタイム交流会の様子 南三陸町では、日本国内にかかわらず、海外の方々とも交流を行い、多くの縁を繋いできました。 今回、一般財団法人日本国際協力センター（以下JICE）様主催の下、中南米にお住まいの方々と南三陸町の復興の担い手たちが、ZOOMを使ったリアルタイム交流会を行いました。 初めに一般社団法人南三陸町観光協会事務局長の及川より、南三陸町の概要をご説明しました。英語に翻訳したデータや写真を共有し、南三陸町の震災時の状況や復興の様子をお伝えしました。 その後、10グループに分かれて交流を行いました。今回、南三陸町の講師として参加されたのは行政、観光、福祉など、それぞれの分野で活躍されている10名の方々。講師の方から、自身の震災時の経験や現在行っている活動について説明していただいてから、意見交換に入りました。	2021 年 6 月 14 日 南三陸町観光協会 （中略）南三陸町の講師として参加されたのは行政、観光、福祉など、それぞれの分野で活躍されている 10 名の方々。講師の方から、自身の震災時の経験や現在行っている活動について説明していただいてから、意見交換に入りました。 今回 JICE 様主催の交流会に参加された方々は、中南米で行政や教育、報道に携わる方々です。そのため、南三陸町での防災対策や行政の取り組みに対して、自分の国にはどう生かせるか、という視点でお話を聞いている様子でした。 震災当時、南三陸副町長を務めていた遠藤健治さんのグループでは、防災についての意見交換が行われました。町の職員として被災者の対応や復旧に携わってきた遠藤さん。南三陸町は 1960 年のチリ地震の津波を経験したことから、行政はかなり高い水準の防災対策を講じてきたそうです。しかし、東日本大震災では、想定していた高さをはるかに越える津波がきたことから、自然災害というのは予想外のことが起きるものなのだと感じた、と語りました。 その話を受けて、「コスタリカでも津波が起きることがある。津波が起きた時のために、行政が働きかけられることはなんだろうか」という質問が出ました。それに対し遠藤さんは、ハザードマップなどを用いてエリアの災害リスクを市民へ周知することが大切だ、と答えます。行政の力では防げないことも多くあり、行政が被災することもある、住民全員が自分の住んでいる災害リスクを把握し、自分の命は自分で守る

	ように意識を持つことが大切だと、遠藤さんは感じたそうです。 　他にも質問は、「防災メッセージを普及するためにどのような技術を使用しているか」など具体的な分野に及び、時間いっぱいまで活発な意見交換が行われました。 参加した方からは、「被災地の方々の経験を聞いてとても感動し、多くのモチベーションを得ることができた」「コロナ禍のために対面での交流はできなかったが、震災後、生きている人たちとつながり、お互いの体験を語るだけで、団結する力や絆が強まり、共感する心が生まれるものだと感じた」等の感想をいただきました。

６．最終報告会でのアクション・プラン発表

Team G（個人の活動計画）	
 	日本文化普及活動(アルゼンチン) ■ 実施理由： 日本文化は奥深く幅広いものであるうえ、自身のルーツを表すものなので、その普及に努めたいためです。 ■ 実施時期： 今年の 3 月 26 日に最初の活動を予定しています。 ■ 実施する者： 発表者 ■ ターゲット： オベラ市の日本語学校関係者 ■ 実施方法： Facebook や Instagram を活用し、日本文化に関心をもつメンバーを募って集まりを開催します。その際日本語学校を架け橋に活動を展開します。

Team H（個人の活動計画）	
 	日系社会に関連するテーマ（ポップカルチャー、伝統文化、日本文化の若者への継承など）についての講演会 ■ 実施時期： 2022 年 7 月 ■ 実施する者： 西アマゾニア日伯協会及びマリリア日系協会 ■ ターゲット： 日本文化に関心のある日系人および一般のブラジル人 ■ 実施計画： 日本に関心のある人が誰でも参加できるオンラインイベントで日本のポップカルチャーや伝統文化の専門家の講演を行います。 ■ 実施方法： アマゾナス大学の日本語・日本文化コースの先生、日系団体の青年グループの代表者に SNS 等を使用して定員 100 名に PR を行います。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)